

'99CMSC全国大会ジムカーナ結果

支部対抗



左から1位~6位

1位	CMSC帯広	46ポイント	8位	CMSC本部	10ポイント
2位	CMSC青森	35ポイント	9位	CMSC千葉	10ポイント
3位	CMSC埼玉	27ポイント	10位	CMSC岩手	6ポイント
4位	CMSC群馬	27ポイント	11位	CMSC島根	6ポイント
5位	CMSC福島	23.5ポイント	12位	CMSC愛知	4ポイント
6位	CMSC仙台	22ポイント	13位	CMSC栃木	3ポイント
7位	CMSC大阪	11.5ポイント			

(支部ポイントは高得点3人の合計ポイント)

AIIIクラス(出走7台)



左から1位~3位



1位	佐藤 庄悦	仙台	58"690
2位	斎藤 光忍	大阪	61"870
3位	味戸 厚二	本部	62"210

1位佐藤選手の走り

AIIクラス(出走31台)



左から1位~6位

1位	田村 憲章	帯広	56"210	6位	長内 豊	帯広	57"990
2位	堅田 一也	青森	56"400	7位	高木 晃雄	島根	58"320
3位	佐々木幸人	仙台	57"190	8位	吉野 正則	愛知	58"370
4位	宮武 貴司	埼玉	57"680	9位	神田 昌昭	島根	58"520
5位	大泉 剛	福島	57"860	10位	飯田 和夫	愛知	58"600



1位田村選手の走り

レディースクラス(出走5台)



左から1位、2位



1位	大井 小ず糸	群馬	55"270
2位	佐藤 幸子	福島	56"030
3位	工藤 康子	岩手	64"320

1位大井選手の走り

AIVクラス(出走24台)



左から1位~6位

1位	三崎 朋弘	帯広	53"510	6位	前田 進一	青森	55"070
2位	岩本 茂	埼玉	54"110	7位	葛西 満	青森	55"130
3位	荒井 信介	群馬	54"600	8位	平塚 忠博	千葉	55"190
4位	金澤 龍	青森	54"800	9位	小山 俊哉	埼玉	55"970
5位	渡辺 弘	福島	54"910	10位	佐藤 宏昭	福島	56"010



1位三崎選手の走り

オープンクラス(出走3台)



1位



1位	小館 久	青森	50"850
2位	宇野 慶一	青森	51"980
3位	須田 行雄	福島	54"890

1位小館選手の走り



ご協賛いただいたスポンサー(50音順)

ご協賛ありがとうございました。

- IPF(株) ●(株)青木科学研究所 ●(株)アサツーディー・ケイ ●(株)朝日コーポレーション ●(株)アライヘルメット ●(株)伊勢丹 ●(株)エス・エス・リミテッド
- オートタイヤ(株) ●(株)オクヤマ ●(株)ガレージシロクマ ●(株)キャロッセ ●京商(株) ●(株)サミット ●(株)精電舎 ●(株)タスカエンジニアリング
- (株)テストアンドサービス ●(株)東京映像社 ●(株)日本ダンロップ ●日本特殊陶業(株) ●(株)長谷川製作所 ●(株)ブリヂストン ●(株)文祥堂
- (株)ミツワモデル柏崎 ●横浜ゴム(株) ●(株)ラリーアート ●(株)菱東エステック ●(株)リック



大いに盛り上がった'99全国大会。また次回お会いしましょう。



CMSC南茨城

8月21日 全国大会報告 みなさん、私たち記憶に残りました?



南茨城・中田事務局長(左)

CMSC南茨城にとって初の全国大会がやって来ました。ジムカーナへのエントリーはこの日やっと2000kを越えたランサーエボリューションVI、ロールバー装着をしただけの「ど・の一まる」(平仮名で書くとクルマの状態が判りいただけると思います。)その様なクルマであって激戦区のA4クラスへエントリーするのも「記録を残すよりも記憶に残ること?」(おお何とスバラシイ言い訳でしょうか!)会長指令レプリミットを3000として各自一本目は様子を見ながら(違反者にはペナ付)いくはずが、額賞会長、何か黒い旗が出ていますけど…。事務局・中田はアンダー出しまくりに逆スーパータイム。あわや黒旗。期待の若手寺田君、一番お約束に忠実。(この日4WD初体験!)会長の2本目は堅く走り切り、1本目のMCのペナとして、レプリミット5000引き上げを宣言。中田、ストレートエンドでシフトミスで失速。「やっても一た」であとメロメロ。寺田君は、賢く納豆走法で4WDターボへの転向すら考えはじめ。リザルトはみんな仲良く「あっちの方」に固まって目的通り「記憶に残ってしまった」か?でしたが、とても楽しく競技を終える事が出来ました。続く幹部会は予想通り、最初のご指名。須賀さんアリガト。あとは

皆さんのお話をじっくり聞いて、学ぶ事が多くありました。「夜の全国大会」(懇親会)のスタートではいきなり会長行方不明?で取りっばくれ。以降ハイエナのごとく暗躍する南茨城であります。本部棚岡さんよりビンゴカードが届きました。期待に胸をふくらませチャレンジ。ゲームが進むにつれ、ついにBingo!賞品をGet。棚岡さんアリガト。中締め後の「更に濃密な交流」は事務局の義務ですので精力的に励み、各支部ごちゃまぜで、も一何の全国大会だかわからなくなっていました。そして25:00に散会となりました。各支部、特に隣接支部とは相互協力を、青森の鶴ヶ谷会長へは茨城の地酒を、同部屋にして大会優勝チームの帯広へは茨城来訪の際は「欲楽街へのご案内」をそれぞれ約し、CMSC南茨城にとって初めての全国大会は幕を閉じたのであります。

我々にとって収穫の多い全国大会でした。本部・各支部の皆様本当に有難うございました。(CMSC南茨城 中田山彦)

CMSC座間

第15回筑波ナイター9時間耐久レース参戦記

スーパー耐久シリーズ復帰に向けての試走

今年、新規に発足させて頂きました我がCMSC座間では、モータースポーツ活動の一環として仙台におけるスーパー耐久シリーズ'99第2戦よりランサーエボリューションVIで参戦いたしました。運悪くアルティアスカイラインGTRの落としたアンダーパネルに乗ってしまい、クラッシュしてしまいました。その後、後半戦に参戦予定の2号車が完成し、シェイクダウンを兼ね今般筑波9時間耐久に参戦致しました。

8月14日15:35より公式予選が始まり、ゼッケン21の我がエボVI(MTCI座間三菱ランサーARC)は4周走ったところでクラッチトラブルの為走行不能となりましたが、タイムは速くポールポジションを取る事が出来ました。決勝まで何とかクラッチトラブルの応急修理は間に合ったものの、不安を持ったままのスタートとなりました。

スタートはル・マン式で、21:00スタートの合図とともにコ・ドライバーがマシンに駆け寄り、ドライバーにタッチしてエンジンスタート。これに手間取り、マシンは5番手で1コーナーに突入。1ラップ目に2番手まで順位を上げ数ラップしましたが、燃料漏れの疑い

でオフィシャルの指示でピットイン。その後も燃料タンクのトラブルや、シビックに最終コーナーでぶつけられる等で長時間のピットインを繰り返し、さんざんな目にあいながらも何とか完走しました。結果はクラス6位でしたが、何よりもマシンのデータ収集と長丁場のチーム運営の勉強が出来たと考えております。



ポールポジションのマシンと市村選手

茂木における'99第6戦からスーパー耐久シリーズに復帰の予定で、良い結果を獲られる様に精一杯頑張りますので、応援して下さい。(CMSC座間 森 淳美)